（1）　昭和21年6月1日（第3種郵便物認可）　昭和24年2月28日 遞信省特別扱承認第233號　昭和24年4月3日　いわき民報　夕刊　（日曜日）　第884號

いわき民報

平市田町48　電381番
發行兼編輯人　印刷人　田原
日刊　但月曜を除く
定價1月40円
1部1円50錢
發行所
いわき民報社

どの病院も不衛生

新醫療法で改善を指示さる

富ケ浦には新築命令

平保健所では管内病院の清潔保持並に構造設備など衛生面の整備が新醫療法によつてやかましくなつたので二十九日縣衛生課桃井主事ほか醫療監視員二名の應援を得て平病院、木村病院、好間炭鑛病院、内郷炭鑛病院、磐城炭鑛病院、富ケ浦病院（小名濱）國立翠ケ丘病院の八病院を檢査したところその全部が新醫療法の規格に當はまつていないものばかりであることが明らかとなつた、その主な點は不衛生であること、便所に金網が張つてないこと、防鼠問題の設備がなつてないことなどは何れも共通した缺點でありその他各病院とも不備な個所は五、六ケ所に達した、この檢査に立會つた縣衛生課では速急に改善するよう病院側へ指示したが、平均三十万円以上の改善費はかかる模樣である、殊に小名濱町富ケ浦病院（院長安部善一氏）では病院の建物全体が腐朽しており極めて危險な狀況にあるため直ちに新築を命ぜられたが、若し半年以内に病院を改築しなければ一時營業停止になるので問題となつた、同病院が病舍を新築するとすれば二、三百万円以上はかかるだろうと見られるので各病院とも大きな打撃となつた、なお診療所二百軒の檢査は近く引續いて行はれる豫定

六十五万圓配分さる

共同募金 幼稚園等に助成

縣共同募金委員配分委員會では平市に對する配分額を六十五万一千二百三十七円五十八錢と決定し市役所に通知があつた、これは昨年十月行つた共同募金の配分金で平市の赤十字並に社會事業共同募金が目標額五十六万円に對し七十六万六千四百三十五円八十一錢と云う好成績を收めたため社會事業共同募金額五十七万四千八百二十六円八十六錢よりも多く還元されたものである この配分金は隣保館たかつき保育園授產場民生事業助成會の費用にそれぞれ充當されることになつている

復職斡旋會

大倉鑛問題

赤井村大野大倉炭鑛勞組の無期限ストに就いて縣特勞委では二日午前十時四十分から縣石城勞委事務局平出張所（市役所三階）に勞組側からの提訴による被解雇員四名にたいする復職斡旋に就いて市井、松本、渡邊各斡旋委員參集のもとに當事者も出席協議した結果經勞兩者間が誠意ある團体交渉を即時もつために二日限りでストを解くこと、もしこの團体交渉が不調に了れば八日午後一時から再度斡旋委員會を開きその後の對策を協議することに決め午後一時半閉會した

サメは不漁

漁獲高は昨年の三分の一

毎年春先賑う磐城七濱の一「サガ景氣」は今年はさつぱり振はず關不漁で惱むハマ人をまた落膽させている、昨年のサメ漁業は百六十九万四千三百貫でこれを水揚價格百十円で換算すると一億八千六百三十七万円にのぼり業者を喜ばせたものだつたが、今年は潮流の關係が惡いためかさつぱり漁がなく平水產事務所の報告によると一月は六万九千五百貫、二月は十九万四千七百貫、三月は二月と大差ないから好漁期のこの三ケ月間で獲れたサメは四十五万八千九百貫で僅か三分の一、價格で五千四百十七万九千円となつた、これからのサメ漁は漁期が過ぎた關係から見込みも薄くこんな程度で終りそうだと極めて悲觀的である

水揚優秀者表彰

久之濱漁業會では三十一日午前十時から全組合に於て縣松本水產事務所所長列席のもとに昨年の水揚優良者を表彰した、又昨年の水揚は三十七万一千四百九十五貫で前年に比し三万貫多かつた

春漁之賞者

△一等根本清三郎△二等酒井梅吉△三等北郷傑三郎△四等高木嘉次△五等高木好之助

秋漁

△一等吉田直身△二等古川三次郎△三等根本清三郎△四等高木嘉次△五等吉田賢次郎

小型發動機船

△一等吉田賢次郎△二等藤田富吉△三等鈴木常七△四等大友初太郎△五等阿部銀之助

無動力船

△一等齋藤大次郎△二等新妻富次郎△三等吉田熊吉△四等根本熊太郎△五等大内福次郎

細船

△五來新五衛門

土木建築
設計請負
平土地住宅有限會社
社長　正木昌次郎

勞資双方の報告を基に

未拂を嚴重取締る

資金資材難を理由に管内中小企業の賃金不拂、未拂、遲拂などが增加し勞働者側は悲鳴をあげているが、平勞基署ではこれに對する徹底取締を行うため勞働省、最高檢察廳の指示に基き四月一ぱいを賃金關係の强調期間として管内器業所の實情調査を行うことになつた、先づ一日から十日までを普及徹底期間として調査票を各事業場に配付し勞資双方から賃金支拂狀況を提出してもらい、それにより取締りに乘出すことになるが、石炭鑛業關係方面を重點的に調査をすすめ從來までは兎角使用者側が逃げ道を作つて支拂を一月二月とおくらせ終には經營難を理由に全額支拂いは出來ないよわみにつけ込み勞働者は泣寝入りに陷つたことも幾多の例があるが今度から勞資双方の一時的了解に係らず斷乎取締ることになり從つて表面化しない部分も相當ある見込みなのでこれらに對しても同樣大手術を行うことになつた

賃金問題の解說會日割

なお平勞基署では右の賃金問題の解說會を左の日程で開き各方面からの切實な聲を聽くこととなつた

八日午前九時から石炭協會會議室△九日午前九時から植田町島秀食堂△仝午後二時から勿來町大日本勿來炭鑛

五日に延期

植樹祭

一日から始まつた綠の週間に呼應して石城地方事務所林務課では三日平市松ケ岡公園で植樹祭を行う豫定だつたが都合で五日午前十時から市役所農林課、土木監督所と共同主催で櫻百五十本を植えることになつた、なおアカシア三百六十本も市内各學校に呼掛けそれぞれ校庭などに植樹することになつた

初代保險課長に上野氏

庶務課長には山野邊氏

市の人事異動

平市では會計、保險兩課の新設に伴う課長、主任以下十六名の異動を一日附で同日午後次の如く發令發表した、今回の人事異動で新會計課長に根本收入役が兼務し、保險課長には上野庶務課長、庶務課長後任に山野邊社會課長、社會課長に元第二小學校長千葉右近氏が就任した

收入役　根本裔利
會計課事務取扱を命ずる

千葉右近
主事に任じ社會課長を命ずる

社會課長　山野邊保良
庶務課長を命ずる

庶務課長　上野忠意
保險課長を命ずる

土木課事務主任　舘岡多久
土木課土木係事務主任を命ずる

庶務課文書主任　永山金吾
土木課經營係事務主任を命ずる

雇　鬼頭三太郎
書記に任じ庶務課文書係勤務を命ずる

庶務課庶務主任　新妻一男
庶務課文書係主任兼務を命ずる

財務課會計係主任　鈴木滋吾
會計課會計係主任を命ずる

財務課會計係　上妻千[illegible]
會計課會計係勤務を命ずる

國民健保組合主事　鈴木元
事務を囑託し保險課調定係給付係主任を命ずる

國保書記　鮎瀬武弘
書記に任じ保險課給付係勤務を命ずる

國保保健婦　今井君子
同　大河原ミヨ子
同　近藤道子
保健婦を命じ保險課保健係勤務を命ずる（各通）

國保　雇　鈴木愛子
雇を命じ保險課調定係勤務を命ずる

合併氣運動く

四日飯野村で學校問題も協議

飯野村では四日午後一時より役場に村會議員各區の駐在員等を招き平市との合併問題、新制中學校の問題について懇談する、この懇談會では合併を前提とした平第三中學校を同村合川瀬地内に今度決つた神谷村地内飯野山に新築する第二中學校と同じ規模のものを作ることについて打合せるが、同村全体の空氣は平市との合併氣運が相當濃くなつているので神谷、飯野兩村が平市に併合するのも間近かとなつており第三中學校も同懇談會で議決することに意見の一致を見るものと見られている

上遠野村の火事

倉庫と酒四十五石を燒く

一日午後六時十分頃上遠野村根岸酒造業櫛田爲代さん（四七）方から發火同家と隣家の櫛田爲作さん（四六）の二棟及び釜場、倉庫、馬小屋等四棟を全燒した上、仕込を終えたばかりの酒四十五石を燒き仝十時ごろ鎭火した、損害約八百万円、原因は植田地區署で取調中

ラガーと日立

あすラグビー戰

三日午前十一時から平工グランドに平ラガー對日立製作所のラグビー試合を開催する、地元の雄平ラガーが强豪日立製作所にどこまで喰い下がるかが見もので早くも各方面の人氣を集めている

いわき寸言

△病院の衛生施設の惡いことはもとからである、この際徹底的に改善すべし

△賃金未拂問題もそう澤山はあるまい

△公衆浴場も徹底的に衛生的にすべきだ、一時的消毒はおざなりである

牧場より直接皆樣へ
牧場の香り豊かな
ミルクを！
アイスクリーム
パーラー
マル井
TEL 271

平市百貨卸見本市
主催　平商工會議所

趣意書

陽春の候櫻に魁けて市内一流の卸老舗が平商工會議所の主催で當地物產及優良商品を豊富に取揃え如何なる商品でも廉價信用をモットーとし卸座に取揃える樣各業種擧つて參加し第一回の百貨（纖維製品を含む）卸見本市を左記に依り開催することになりました
當日松ケ岡公園の櫻も外來の客を待つ如く綻ろび初め加うるに平和產業博覽會が開催されますので日頃の御引立の万分の一にも報ゆるべく右博覽會の入場券及び茶菓券を進呈して御ざいますから此の機を逸せず是非御來臨の程を切にお願い申上げます

昭和二十四年四月吉日

平商工會議所主催　平市百貨卸見本市
事務所　平市紺屋町四一（平商工會議所内）
後援　平市役所
平地區商業協同組合
いわき民報社

一、會期　四月八日（金）－十日（日）三日間　午前九時より午後五時
一、會場　平市三丁目　磐炭公園跡
一、出品者左記の通り（イロハ順）
◎…一般小賣業者の御來場を歡迎致します

履物 鼻緒	勇屋履物店	平市西町 電三三七
纖維 織物 指定卸賣登錄商	株式會社 磐水社	平市紺屋町 電二七八
洋品 文具 小間物雜貨 化粧品 電氣器具	橋本合資會社	平市四丁目 電四〇一
硝子器一般 板硝子 配給店	新妻商店	平市新川町 電一四二
農耕機械 食糧機械	平陽商會	平市白銀町 電一〇七二
家具 漆器 雜貨	近江屋	平市仲間町 電七二
文具 紙製品	魁文堂	平市才槌小路 電三二三
雜貨 荒物 洗劑 ハイ取紙	橫山萬藏商店	平市三丁目 電九四
陶磁器 卸商	武田陶器店	平市一丁目 電二三九
傘 下駄 鼻緒	合名會社 田口辰雄商店	平市五丁目 電三七七
小物 玩具 紙製玩具	合資會社 立花屋商店	平市大町 電二〇八七
荒物 雜貨 紙製品	大一屋 資生堂平配給所	平市一丁目 電二三
纖維	又一株式會社 平出張所	平市三丁目 電九七七
荒物 雜貨 陶器	松崎商店	平市新川町 電一七三
加工水產物 農業機械 日用雜貨 食料品問屋	縣生活必需品株式會社 平支店	平市白銀町 電八〇四
荒物雜貨	袋屋本店	平市五丁目 電五一六
油脂製品部 紙製品部 生活用品部 製材製函部	伊勢屋 阿部唯株式會社	平市四丁目 電四五
紙製品 文房具 事務用品卸	坂本紙店	平市一丁目 電一八
百貨問屋	合資會社 さかいや本店	平市六丁目 電四八五
度量衡 家庭金物 刃物 卸商	坂田金物店	平市一丁目 電二六
食料品 卸問屋	三國屋 高野正男商店	平市南町 電一〇〇八
荒物 雜貨 卸商	白土正藏商店	平市西紺屋町 電六九三
陶器 硝子	白土陶器店	平市二丁目 電五四四
履物 雜貨	株式會社 菱井商事	平市才槌小路 電[illegible]
金物 問屋	釜屋 諸橋久太郎商店	平市五丁目 電九一、九九
家庭金物 硝子食器	關原商店	平市二丁目 電五六〇
荒物 雜貨 卸商	鈴木莊介商店	平市二丁目 電二八八

春漫筆

玉飾の起原

根本忠孝

曲玉の色美しき春日かな

これは私の句であるが、私は常に玉類を愛し、殊に好んで先史時代、原史時代の玉を採集し考古學の資料として藏している。

一体、玉と云う名は何から起つたのであらうか『言海』には『妙玉（タヘタマ）ノ略カト云。玉、めのうナド石類ノ美シキモノヽ總名』とあるから名稱の起りの詮索はこれ位に切り上げ、石は石だが硬くもあり、見ても美しい石を玉と稱し、その玉で造つたものを玉器と云つて置く。玉としては硬玉や碧玉などを第一に數えている。硬玉のことを『ひすい』又は『ろうがん』と呼び、金剛石に次ぐ硬さの深緑色のもので、はでな美しさはないが、縄文時代の中期から彌生式時代はもとより、古墳時代ははい玉時代と呼ばれる程、玉飾の風習が盛になつた

斯る玉飾の起原は何に基いたであらうか、それに就いて故坪井正五郎博士の『人類學講話』から左に引用することとする。

『曲玉と云うものがありまず。この曲つた玉は何の形に基いたかというに私の考では古人の有樣を考えまするには今日の未開人民の事を比較するのがよいと思いまする。未開國では獸の牙、鳥のくちばし、鳥の瓜、獸の爪などを飾りに頸のまはりえつけまするエウジイランドにおきましては鮫の齒を飾りにつけ、印度におきましては虎のつめなどをつけまする。これから見ますれば猛獸を殺しなどした時に、半は記念のため、半は裝飾の爲に、貢物の牙爪などを取つて飾りとしたのに起つたのでありませう。後にはその模造を共に掛け連ねることなどがあつたのであらうと思はれまする。で古代には曾て模造と模造でないものと共に行はれたでありませうが、今日に存じて居るのは模造のみとなつたでありませう。管玉は、竹の管の形です。今日でも琉球では竹を切りまして飾と致します。一般に管玉を見まするに竹の形でありまして且つ竹の色の樣な綠玉を用ひまする。これによつて見まするに竹がもとでありませう。その他の玉なども、もとは木や草の實を用ひたものが、後世には專ら模造品を用いる樣に成つたのでありませう』

玉飾の起原に關する人類學、考古學の老大家の至言と云うべきである。

ひるがへつて、この硬玉はどこにもざらにあるものではない。近年までは我國はおろか、朝鮮にも中國にも硬玉はないと考えられ、我國の硬玉ビルマから運ばれて來たものであらうと云はれていたが古墳時代ですらビルマから東支那海の荒波を凌いて往來が不可能であるのに、さかのぼつて縄文時代の中期頃の遺蹟から硬玉が發見されるのは全く不思議がられていたのである。

然る所、この疑問に對し考古學の大家後藤守一先生は其著『新版私たちの考古學』に左の如く書いている。

數年前に、富山縣の東部、黒部川の奥の谷に近い所から硬玉の出ることがわかり、今までの疑問がとけたのです。それにしても明治、大正の時代、學者が國中をくまなく、しらべていたにもかかわらずないと斷言したぐらいの硬玉を數千年前の縄文文化人が發見し、金器がないのに、これにいろいろの細工をしていたということは、感心のほかはない』

と斷言している。

その後、東北大學の河野教授が鑛物學の立場から、硬玉の産地を山形縣月山、福島縣中村、栃木縣西那須、愛知縣耐川の各地からも産することが明になつたと語つている

（筆者は磐城史談會顧問）

米の精白度が足りぬ

投書函から見た市民の聲

主食配給のサービスをモットに食糧配給公團平支所では市民の卒直な聲に應えて配給の円滑化に努めるため市内の各配給所に投書箱を設けていたが、三十日平市署、市役所の各係員立會の上で三ヶ月振りに開函した、この結果九ヶ所の配給所のうち投書の入つていたものは第一と第四兩配給所で僅か三枚、然し何れも眞面目なものばかりで係員も感心した、投書内容は

△配給毎に次回の配給日割を知らして貰いたい、その場合配給量も判らないと色々都合が惡い（引揚者より）△浦和市から轉入して來たものだが當地の配給米の黒いのには驚いた、もう一度つなかくとも良いように白いものが欲しい、配給の麥、干麵、粉などに拾數匹の虫が居た、配給日だけの通知でなく品目、數量、金額を知して貰いたい、△福島市から轉入して來たが平の米は黒い、福島市と同じ白さに精白して下さい

右に對し同支所ではこの輿論箱の聲に應じ大いに改善する事になつたがつき精度は九十ペーセントで全國共通しでおり米質や乾操度などで白さが幾分違うのは已むを得ないとしているが更につき精部投書の趣旨を注意することにした

宇根尻・三坂差鹽間

二千米の林道近く完成

平營林署では二十三、四年度継續事業として川前村字根尻から三坂差鹽間急勾配の坂道二千米を結ぶ林道新設に去る一月初旬頃から工費六十万円で着工、完成を急いでいたが四月いつぱいには完工する見込みとなつた、これが出來ればトラックも通ることが出來て、從來まで丸木の運び出しに木馬等で背負い出して急勾配の坂道を山元まで運搬し不便で、山元から平まで出荷するに三坂差鹽—永井—合戸—好間—平に約十里を廻り路してトラックで往復してい[illegible]のであつたが、今度からは僅か二キロの新林道によつて生産地から直接川前に結ぶ磐越線に直結出來ることになつたため今後の同地方の木材や木炭搬出に非常に便利となるわけで同地方の開發に稗益する處が多く喜ばれている

衛生管理者合格者

平勞基署では管内第四回衛生管理者試驗の結果合格者左の通り

杉山貫、佐藤四郎、橋本喜彦、田代勇平、松崎武、小針岩三郎、八木沼円二、鈴木裕、新妻唯男、大平寅夫、佐久間清明、市井正久、鈴木宇男、佐藤弘、矢澤謙藏、遠藤弘、泉田國枝、紺野茂治郎、齊藤幸男、吉田英治、原田忠之助、木村悦子、神長倉渡、遠藤昭一、金成隆、渡邊重雄、二宮豊輔、大平トシ、唯木榮、堀田健吉、香取綾子、佐久間義昭、永塚安三、大波辰雄、毛塚幸男、荒川元吉、佐久間竹代、築館先夫、木田謙一、松原昭義、鴨原喜春、百足邦夫、米山寛、黒田正元、關年男、齊藤繁夫、阿部勇、久野富喜、鈴木一男、三村三七夫、草野求、阿部一馬、鬼木康至、高木哲郎、高野ヒデ、猪狩一之、道山齊治、大平成夫、門馬政衛、宗克巳、赤津順一郎、瀧澤榮、佐藤政一、鈴木七郎、大槻幸之進、白石誠、松本忠吉、中川豊伊、藤浩森、下嘉代、佐々木恩二、鈴木喜藏、武田新一、山浦一衛、大竹直吉、鵜沼功、大場孝男、河野光、小松崎勇、鈴木豊男、山島良一、平栗清、高木新英、佐藤孝、菅野秀雄、立谷美千雄、井戸川大則、宮澤シメ、五十嵐信幸、高田善之助、菅野隆夫、新妻久野、小菅木田男、山崎保嶽、服部和雄、三瓶喜久治、加澤一郎、小川貢、先崎正

街路樹が綺麗に剪定

綠化運動に吉田さんの奉仕

本社前田町大通りの街路樹プラタナスは伸びるにまかせていた處三十一日と一日の二日間綺麗にせん定された、久之濱町の吉田滿さん（五四）が綠化運動に協力して奉仕作業を行つたもので感謝されている、吉田さんは昨年春神奈川縣から移住した人であるが綠化運動に不二クラブを組織し小川郷、久の濱、赤井、草野の各驛の綠樹美化に奉仕したこともあり、近く松ヶ岡公園の美化にも古鍛冶町青年團等と協力してやると意氣込んでいる

技術員教習所卒業式

東部石炭協會技術員教習所（内郷町）の第四期生卒業式は二十八日行はれ三十名の少壯炭鑛エンヂニヤーをおくり出したが古河炭鑛の渡邊、須藤兩君、常磐炭鑛の中川洋君がそれぐ成績優等で卒業した、なお第五期の入所生は二十八日各山の希望者から選擇三十一名を採用し四月四日から開所する

低品位炭の利用懇談會

五日も續開

黒ダイヤの落伍者として儘つ子扱いの低品位炭を有利に消費する爲平石炭局では五日午前十時半から局會議室に第二回常磐炭利用懇談會を開き、二月の第[illegible]會で協議した結果低品位炭といえどもその利用方法によつては火力發電にも高級炭に劣らず使用出來利用は前途有望だと太鼓判を押され火力の研究は配炭公團分析係で、低温乾りゆうは石炭局生産部でそれぐ研究中であつたが、この會議にその結果を發表し、それと共に工業化の方法についても協議することになつた

自動車組合支部長に佐藤三平氏

縣自家用自動車組合では三十一日午後一時から本社樓上に臨時總會を開き、若松支部長坂本副支部長辭任に伴う後任推選を行つた結果支部長には内郷町の佐藤三平氏副支部長には江名造船の坂本菊治氏を推選したが今後交涉委員をあげて折衝することになつた

平一、二中は好成績

新制高校入學試驗の結果

平市敎育課では今年度の新制高等學校入學試驗に市内新制中學校からどの位合格したか調査した結果、次の如く第一中學では受驗生八十六名に對し合格七十四名、第二中學の受驗生三十五名に對し二十九名と今までにない好成績を示したので郡下一の合格率だと鼻高々である（カッコ内は志願者數）

【第一中學】磐高一六（一七）磐女二二（二三）平商二七（三四）平工五（七）磐農五（五）

【第二中學】磐高四（四）磐女八（八）平商九（一〇）平工八（一三）

他人の鑛區を種に詐欺

内郷町の中井檢擧さる

内郷町宮峰根採炭夫中井國貞（五二）は昨年四月仝字の石炭業吉田元彦さん（四六）に仝町宮鬼ヶ澤の日本採炭會社所有の鑛區を自分のものゝように詐りその採炭權利金として吉田さんから現金九千円を騙取したほか同樣手段で仝字鑛業平岡久治さん（六一）から二万円、更に同町竹之内無職添山利男さん（二八）から五千円をそれぐ騙取したこと發覺三十一日『詐欺罪』で内郷署から送檢された

鰹漁は好調の見透し

早くも濱は準備に着手

待望のかつをシーズンが愈々迫つて來た、小名濱漁業會の觀測によると、かつを魚群は昨年よりは一層好調の模樣であると明るい見透しをもたらしているので早くも濱は活氣づき出船を指おり數えて待機している、その間ハマでは約四十隻からの船の修理を急いでおり出船の準備に忙しい五月初旬頃には一齊にくりだせる豫定で先ず今年は八丈島附近から隨時北の方へと移動して本縣沖に來るのは五月下旬頃と推定している、今年のかつをの魚體は昨年よりはそう大きいものはとれないと見ているが、いづれにしても家庭の食膳に上ると豫想されるのは六月初旬頃には出廻るだらうと同所では語つている

增炭模範家族も表彰

平石炭局では管内出炭優良炭鑛の従業員家族から増炭にかげながら協力している模範家族員を表彰することになり各炭鑛にその適任者を推選させているが、表彰式を三月の能率精勤優良炭鑛表彰式を兼ね四月二十八日行う

消燈して混亂

また驛の列車急襲

平鐵道公安官派出所では水戸友部の各公安所員の應援を得て三十日驛の列車常磐線上野行二一二（平通過十二時三十分）を一齊急襲した、當夜かつぎ屋連中が難をのがれようとしてひしめき合い草野か當平間で全列車の電燈を消燈ら列車内は大混亂を呈した、當夜の成績は經濟法違反主食四十九件四九二キロ雜穀五件九八キロ、無主物主食一〇六件四四〇キロ、雜穀一件八七キロ、その他葉煙草三件一四匁惡[illegible]札一件

宅地家屋
賣買物多
鹽田屋商會
平市三丁目

◎映畫◎

4日より

無法松の一生

世界館

九州小倉で無法松の異名とる富島松五郎（阪東妻三郎）は亂暴者の人力車夫、或る日堀に落ちた少年吉岡敏雄を救い母のよし子（園井惠子）を知る、吉岡大尉に可愛がられ酒の相手をするうち大尉が急逝し吉岡家の力となり敏雄の遊び相手になる松五郎はこゝで愛情と幸福を感ずる、敏雄が成人して小倉を離れてから無法松は昔に歸り酒を求める樣になる、居酒屋のポスターの美人繪が吉岡夫人に見え彼の腦裡より離れない、祇園祭に先生を伴つて歸省した敏雄の爲に無法松は案内役をした上本式の祇園太鼓をたたく、岩下俊作の原作を故伊丹万作が脚色しコンビの稲垣浩が監督した名篇の再登場

放射線科
内科
谷口（ヤグチ）醫院
平市二丁目横電一〇六五

◆4日より◆
巨匠稲垣の演出…阪妻入神の至藝
無法者、松五郎が一生賭けて惚れた美貌の未亡人の面影を抱いて愛と涙を放浪する號泣幾星霜…
無法松の一生
阪東妻三郎　月形龍之介　杉狂児　山口勇　園井惠子　荒木忍
世界館

磐中出身者に告ぐ！
大橋秀冬先生謝恩記念金募集
今般磐女高校校長に御榮轉されました恩師大橋先生の在職三十二年の御努力に報いたいと存じます
一口百圓以上幾口でも受付けます故何卒御協力下さるよう御願申上げます
磐高同窓會
會長　野崎喜八郎
平驛前常磐交通本社内
他　幹事一同
尚連絡及び會計事務は磐高校内丹野環（三十一回卒）宛願います

女工員募集　若干名
一、年令十八才より三十才まで身体强健な方を求む
藁工品和洋家具疊床製造請負
鈴木製繩工場
平市月見町一九　電八九九番
鈴木勇

炭俵
疊床
藁工品
大量註文に應じます
在庫品豊富

助産婦見習
◆數名募集◆
産室完備
鈴木助産所（産院改メ）
助産婦　鈴木ミヱ
平市田町（電七八八番）

本場自慢
牛豚肉　ロース一八〇円
豚肉　並　一六〇円
◎…業務用は牛豚肉とも特に御相談に應じます
親切本位の
綠屋肉店
平驛前電話七九四（ナナクシ）

正確。安價
時計の店
サービスの街銀座街
サービスの店
誠光堂

ラジオとアイロンなら
三井デパート
平三　電284